

さんご
珊瑚くん (お飲みの漢方薬をより効かせるために…)

この商品は、風化造礁サンゴといって、サンゴの化石を細かくしたものです。成分は 23 種類以上のミネラルが入っています。ミネラルとは、無機質のことで、カルシウム、鉄、ナトリウムなどをいいます。自分の体では作ることができない物質ですから、食べ物から取らなければなりません。ミネラルは、人の骨や身体の組織を作る大切なものなのです。

実はサンゴは日本でも古くから民間薬として使われていました。寺岡良安という医師が書いた「和漢三才図説」に薬として登場しています。解毒、古血をとる、目のかすみをとると書いてあります。

この商品は、お水に入れて飲んだり、料理にも混ぜることが出来ます。ミネラル補給だけではなく、自前の実験では、漢方煎じ薬に入れて煮詰めてみたところ、いつもより味が濃くなり、効きの良さを感じました。漢方薬をより効果的に効かせる為にご紹介しました。

粉薬の方は、飲む水に溶かして服用いただくと良いと思います。ご興味がある方は、担当の薬剤師までご連絡をください。

20 包入りで 1,080 円 (漢方薬約 20 日分に使う量になります)



INFORMATION



9月の講演会のお知らせ

9月8日(木)9時30分からみのりの大学城内校において講演をさせていただきます。

講演の内容は、徳川家康公の長寿の秘訣をお話する予定です。内容は、後日HPにて公開させていただきます。また、11月21日(月)は、藤枝市内で講演会をさせていただく予定です。



フリーペーパー「すろーかる」

第五回の内容は、「漢方薬で赤ちゃんを考えている方へ」をテーマに連載させていただいております。



MUTSUGORO & MUTSUMI PHARMACY NEWSPAPER

no.175

むつごろう&むつみ薬局新聞



リンを増やす働きや、貧血の方に血を増やす働き、老化を抑える働きなどです。

漢方薬の摩訶不思議

また、驚くことに、高血圧の方に血圧を下げる働きと低血圧の方に血圧を上げる働きがあり、気持ちを落ち着ける働きと興奮する働きを併せ持っていることが分かってきたのです。一つの薬用植物の中に相反する二つの働きを持つ成分があるのです。私たちが使っているお薬の中にはこんなことは有りえません。これが漢方薬の摩訶不思議の所以です。難しい話ですが高麗人参の成分の一つ「ジンセノシド Rb 群」が中枢神経を抑制させ、「ジンセノシド Rg 群」が中枢神経興奮させるのです。漢方医学はバランスの医学とも言われ、人を健康に導くために、高いものは下げ、低いものは丁度よく上げる、所謂「恒常性」を働かせるのですが、そのときに、自動的に相反する成分を使い分けているのです。まるで今流行の人工知能に似ていませんか。

では、どの様な理由で使い分けているのでしょうか。

生き物は環境によって変化する

人は環境によって変化するものと言われています。親譲りの頑固な性格は変わらないが、人は人に良くも悪くも影響されるものです。このことを悩んでいる方もいますが、生命がもっている生きのびる手段かもしれません。先ほどの高麗人参のお話と同じで、一人の中に相反する二つの心があり、今の環境に応じて心が決まってきます。それを決定付けるのが、自分に置かれた立場なのです。

二足のわらじ

皆様こんにちは。9月に入り、まだまだ暑い日が続いていますが皆様の体調はいかがでしょう。夏ばてにはなっていませんか。今、私は東邦大学の薬学部教授小池先生と、医学部の田中耕一郎先生、奈良先生、千葉先生と共に医学部、薬学部向けの臨床生薬学の本の出版に向け、毎日苦戦しています。「苦労することは勉強になる」と言われますが、早速面白い発見をしましたので、皆様にご報告させていただきます。

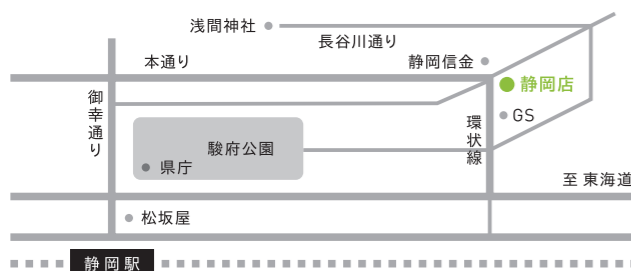
それは、高麗人参について調べていることからです。高麗人参は皆様ご存知のとおり滋養強壮剤として有名で、薬局で売られているドリンク剤にも含まれます。昔はその形が人に似ていることから、不思議な力を持つ不老長寿の薬とも言われていました。その後、医学の研究が進み色々なことがわかってきました。糖尿病の方にインス



静岡店 (むつごろう薬局)
所在地: 〒420-0865 静岡市葵区東草深町 22-2
TEL: 054-(247)-6006
FAX: 054-(247)-6007
営業時間: 10:00~18:00 (18時以降は、要予約)
定休日: 日曜日・祝日
(12/31-1/3, 8/13-15 はお休みを頂きます。)
HP: <http://www.mutsugoro.co.jp>
EMAIL: info@mutsumi.com



東京店 (不妊治療専門薬局むつみ薬局)
所在地: 〒104-0061 東京都中央区銀座3-8-17
銀座理容会館ビル2F
TEL・FAX: 03-(3563)-6238
営業時間: 10:00~19:00 (予約制)
営業日: 火曜日・土曜日
(12/31-1/3, 8/13-15 はお休みを頂きます。)
HP: <http://www.ginzamutsumi.com>
EMAIL: info@ginzamutsumi.com



漢方薬は基本的に複数の薬用植物から出来ています。多いものと20種類以上のものまであります。その中には仲がよい相手や、気が合わない仲間がいます。そのペアを組む相手によって、働きが変わってくるのです。例えば、高麗人參は、乾姜とペアを組むと神経興奮に働き、石膏とペアを組むと神経抑制に働きます。

この考えを、医学論文として発表したのが、私たちの師匠、田畑隆一郎博士です。「二味の薬微理論」と名づけました。

二足のわらじの真武湯

お話の最後は、真武湯しんぶとうという漢方薬です。茯苓、朮、芍薬、生姜、附子の5種類から作られています。その効き目は相性が合うと絶大で、メニエール病、疲れ、体力がない方のかぜや、パーキンソン症候群、小脳疾患にも応用されます。

この漢方、高血圧症と低血圧症両方に使われます。西洋医学的には考えられない、同一処方でも相反する働きをもつものです。理由は、その中の茯苓・朮のペアの働きが余分な水分を出すことにより血圧を下げたり、附子と生姜のペアの働きで体を温め新陳代謝を高め、低血圧の方の血圧を調節するのです。このことは、真武湯を使う人の体質によって、同じお薬なのに作用の中心が変化してくるのです。例えば歴史の中で戦国時代は腕力が強いものが上に立ち、泰平の世では知恵が働くものが力を発揮することに似ています。

漢方薬は、複数の薬用植物の配合で出来ており、それぞれの植物には沢山の成分が入っています。それが、煎じ薬として煮詰まると互いに作用して新しい物質を作り出します。かなり複雑系となっていて現代医学を持ってしても分からないことだらけです。最先端の科学や技術は自然から学んでいるようですが、当に2千年の歴史ある漢方医学は隠された素晴らしい医学と感じています。

押してダメなら、引いてみる

私は昨年の夏から右手のあれがひどくなり、特に薬指を中心に荒れています。肌荒れを目的に飲んでい

はないのですが漢方を飲んでいてもよくなり、肌荒れの相談の時に隠したいほどです。右利きで生薬をよく触ることも原因だと思いますが、冬にはよくなるので、水道水の塩素が主な原因なのではと思っていました。しかし塩素を除くシャワーヘッドをしても、シャワーのお湯に浴びると悪化します。新聞を書くにあたりいろいろ考えていて、薬指の小指側の爪の際にある「関衝」というツボから手の少陽三焦経始まるので、私の右腕にあるへこみが原因なのではないだろうかと思うようになりました。小さい頃に注射のあとよく揉まなかったせいなのか、右腕の三角筋の下が触るとすぐ骨というくらいへこんでいます。ツボがないところなのですが、手の少陽三焦経じゅうえの「臑会」というところの下くらいからです。一番へこんでいるところに円皮鍼を貼ってみました。円皮鍼は、丸い小さな絆創膏の真ん中から小さな鍼が出ているものです。夜に貼ったところ、次の日のお昼ころには少しふっくらとしていましたが、手荒れには残念ながらすぐには変化が見られませんでした。温まるとよくないので、冷感の手袋を探し買ってみました。期待通りかゆみが楽になります。しばらく手袋をつけて仕事をするをお許しください。

「臑会」の作用は清熱、通経絡、利関節で、一般的には肩や腕の痛みに使います。肩の腫れや首のこぶといったリンパ節の腫れ、甲状腺腫にも効果があるようです。私の場合も「臑会」貼れば効果があったかもしれないです。ツボは一般的には押すことが多いのですが、引っ張るというのもいいです。三角筋は硬くなっている方が多いので、手の平全体でつかんでじっとしていると緩んできます。そのあと、「臑会」を押すとよいでしょう。寝たきりなどでだんだん筋肉がなくなってきた場合なども経絡にそって皮膚をつまんでいくと、少しふっくらとして経絡の流れがよくなります。

「臑会」腕を水平に持ち上げ、肩関節の前後に現れる凹みのうち、後ろの凹みから肘頭に向かって指4本のところ。

生薬のお話 山椒

皆さま、今年は土用の丑の日にうなぎは食べましたでしょうか。私も夏ばて予防に頂きました。やはりうなぎ

の蒲焼は美味しいですね。また、蒲焼と山椒との相性は絶品です。今回のお話はその山椒です。山椒は、うなぎ以外に食事では余り使われませんが、ご飯の友として、ちりめん山椒、塩漬け、佃煮がはやっているようです。食をそそりますね。私事ですが以前中国研修に行っていた時に、よく山椒入りのスープが出されました。臭いが鼻について美味しくなかったのですが、体が温まりぐっすり眠れて翌日は元気になっていました。また、一度もお腹を下したことはありませんでした。その理由は、山椒の効果によるものと考えます。働きは、胃腸や体の下半身を主に温め、消化を助け、食べ物の毒消しがあります。皆さまも、感覚的に一番体を温める調味料が山椒とお気づきだと思います。

大建中湯という漢方薬があります。その主成分が山椒で、生姜の乾いたものと高麗人參そして麦芽の飴を入れたものから作られていて、まるで食材からできた美味しそうな漢方薬なのです。その働きは、腹中が冷えてガスが充満し、腸がモクモク動き、激しい腹痛嘔吐するような方に用いられ、女性では、激しい生理痛に使われます。

山椒は、兵庫県の朝倉産が良品で、アサクラサンショウといわれ木にとげがなく小葉は小さく実は大粒のもの。私たちの薬草園にもぜひ植えてみたい薬樹です。

「むつごろう健康五ヶ条」

- 一、人は自然界の一部であり、その調和で成り立つ。
- 一、心と身体は常に一体である。
- 一、なぜ病になったのか、その原因を考えること。
- 一、無理せず、無駄せず、継続すること。
- 一、真の健康とは、心と身体が調和し常に自然体である。



はこにわ薬草畑

暑さの中の草むしりはさすがに大変でした。日中2時間仕事をするだけでかなり体力消耗します。草の根は強いので引き抜くだけでも大変です。畑仕事で初めて熱中症になりました。家に帰って食後にふらつきがひどくなり、天上が回ってしまいました。一晚寝て治りましたが、休んだ分畑作業が心配です。



生薬のお話 山椒



INFORMATION



family's tomorrow (famit)ー未来の家族のために、夫婦が共に知るべき情報を一インタビューを受けました。内容は、「漢方で妊娠力UP! 東洋医学から妊活をサポートする・むつごろう薬局」です。今回は、特に男性の不妊症の悩みについてお話をさせて頂いております。ご興味がある方は、<http://famit.jp/archives/1814>をご覧ください。